

果樹農家のみなさまへ、時季ごとの耳より情報をお届けします



モモの海外輸出



- 果物の輸出は、収益性の向上、国内販売価格の安定化、国際ブランド力強化等のメリットが大きく、県産果実も主に台湾や香港等の**アジア地域**に輸出され、年間総販売額は9億円以上に及んでいます。
- **モモ**は開花に適度な低温が必要なため亜熱帯では珍しく、特に人気が高い果物です。
- 果樹試験場ではモモ輸出量の一層の増加に向けて**シンガポール**への**船便**による輸送試験を行いました。
- その結果、山梨からシンガポールまでの輸送には**合計14日**程度の日数が必要でした(図)。
- しかし、船内貯蔵は安定しており、現地到着後にロスは少なく、**5日間品質は高く維持**されていました。
- さらに国内トラック輸送の際にも**保冷が望ましい**ことが判明しました。

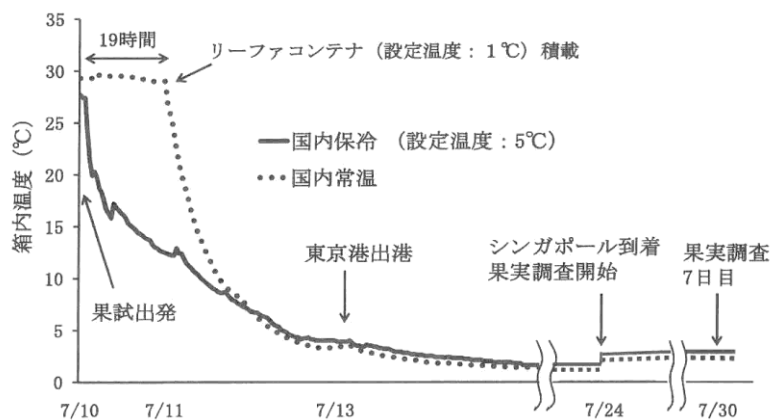


図 モモの海外輸出日程と箱内温度(品種:白鳳、手塚)



来春開花する花芽が生育開始



- 6～7月になると新梢上の葉柄の付け根に白くポコッと膨らんだ部分が見えます(写真)。
- これは、来年の3～4月に開花する**花芽**の赤ちゃんが形成されたのです。モモの樹はすでに**来年に向けて準備**を始めています。
- まだ、小さな芽ですが今後、秋から春にかけて花芽か葉芽にはつきりと分かれながら、成長を続けていきます。
- 今後、これらの芽の健全な生育のためには**十分な日射量や水分の確保**とともに適切な薬剤散布による**病害虫防除**が必要です。



写真 新梢上に形成された花芽(7月16日)